

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とことこ本郷  
台教室

対象人数(保護者)28人 回答者数 25人 回収 89.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	5			低学年だけなら大丈夫そうですが、上級生が増えてくると手狭かなと思います。公園などで発散してもらっているようなので、現状は大丈夫だと思います。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3		1	認識不足で、人数比を把握していませんでした。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	5	1		もう少し広いと、適性に合わせて空間分けができそうだなと思います。反対に大人の目が行き届きやすいという良い面もあるように思うので、どちらとも言えないを選択しました。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2			こちらの希望を汲んで専門的な支援の取り組みをしてくださっているので、とてもありがたいです。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	24	1			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	3			こどもは、お出かけや調理など、普段できない活動を楽しんでいるように思います。親から見ても色々な活動が増えたなあと思っています。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	7	1	5	高齢者福祉施設との交流はあるようですが、地域に児童クラブも少なく、他の子どもとの交流は中々難しいと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	5	1	5	家族参観や面談での対応はとても細やかですが、研修会と言われるとちょっと違うかもしれません。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2			
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2			
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2			
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	10	4	8	
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		2	
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2			
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		3	
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2		5	
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			4	
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		1	
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			4	些細な怪我や病気の時もこまめに連絡をくださっていて、ありがたいと思っています。
満足度	㉗ こどもは安心感をもって通所していますか。	23	2			
	㉘ こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1			
	㉙ 事業所の支援に満足していますか。	24	1			利用日が固定となりますが、出来れば家庭の事情などで利用日以外にも利用したい時に、ご対応頂ければ助かります。いつもありがとうございます。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とことこ本郷台教室		公表日		年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	パテーションを使用するなどして環境設定を行っている	部屋が完全に分けられると異なる活動をする際などに良いと思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	職員数は安全確保を考え、適切に配置されている			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	0%		エレベーターのない3階なので利用できる児童が限られている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室を有効に活用している	音が入ってくるためクールダウン等に使える完全な個室ではない		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	50%		外部評価は受けられていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員全員で活動内容を考えている			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	職員各々で活動を立案する機会を設け、活動の種類を増やす工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	専門的支援を行っている 集団になじめない子どもは個別対応をおこなうなど工夫をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動の共有シートを導入したことで余裕を持って支援内容などが組めるようになった	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	送迎後に振り返りの機会を設けている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	HUGを活用し記録を残すことで支援の改善を図っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児発管がモニタリング面談を行い、その内容を職員に共有している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	0%	学校と面談を行い、情報共有を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	保護者と下校時刻表を元に細かく連絡を取るようになっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	33%	50%		今まで事例がないが情報共有できると良いと思う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%		該当者がいないため行っていないが、対象者がいたら行う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	67%	33%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	公園に行った際には、地域の子どもたちと遊ぶことがある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	情報共有を行っている。必要なご家庭には面談でお話を聞く機会を設けている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%		ニーズがないように感じている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	保護者参観は行っており、その際には保護者同士の交流もある	保護者参観は開催しているが、保護者の交流を目的としたものは行っていない 保護者会は相互理解のために必要だと考える
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	Instagram等を使い適切に発信することができている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	研修を行い個人情報を慎重に取り扱っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%		住民招待はないが自治会との交流があれば理解が得られるのではないかと思う
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修を含み、日ごろから振り返り等を行っている 虐待防止のために朝礼時に気を付ける点を再確認するようにしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	とことこ本郷台教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	支援後にこどもの様子、活動プログラムの進行について等振り返りを行い、記録を取り、その後の支援につなげている。	引き続き振り返りを行い、振り返りで改善点は確実に実行できるように職員全員に周知する。
2	活動プログラムがマンネリ化しないよう工夫している。	職員の得意なこと等を生かした活動プログラムを取り入れている。	同じ活動プログラムでも担当職員を変えることで単調にならないように今後も工夫を続ける。
3	こどもの特性に応じた専門性のある支援を行えている。	職員同士情報共有をし、こどもの特性を理解して適切に対応できるよう努めている。また、専門的支援を実施し、個別や小集団での活動を取り入れている。	引き続き職員間でこどもの様子や特性の情報共有を行う。また、教室内外での研修を行い職員一人ひとりのスキルアップを目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参観を定期的に企画をしているが、保護者同士が交流するきっかけ作りが必要と思われる。	職員が活動や進行に注力していることが多くなってしまっている。 スケジュールの中に交流時間を設けていない。	保護者参観内で保護者同士の交流の機会の時間を作り、保護者同士の繋がりを広げられるように取り組む。
2	ペアレントトレーニングや保護者向け研修などの機会がない。	研修を行うことができる職員が在籍していない。	職員の知識や技術の向上を行う。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	公園などで居合わせた地域のこどもと遊ぶことはあったが、計画的な交流はなかった。	同じ建物に入っている学童や児童発達支援との交流を計画する。また、公園遊びの時間も可能な範囲でとり、自然な交流が続くようにする。